

対象学年				
幼稚園・保育園	小学校			中学校
年長	低学年	中学年	高学年	一般

オリエンテーリング



プログラムの概要

グループで、キゴ山各所に散りばめられているポイントを探しながら、自然観察を行います。それぞれのポイントには木につるされた缶（ポスト）に記号が書かれており、その記号を用紙にメモしていきます。

各ポイントにはキゴ山の自然を感じられる物があり、それらを見たり感じたりして自然を楽しむことができます。また、仲間と協力をしてたくさんのポストを見つけることで、仲間と協力をする心や思いやる心を養うことができます。

所要時間：ハーフコース（約 1.5～2 時間）
フルコース（約 3 時間）

銀河の里キゴ山

オリエンテーリング

1. 活動のねらい

このプログラムでは

- ・豊かに保全されている森林や生息する動植物に親しむ。
- ・仲間と協力したり、思いやったりする心を養う。
- ・自然の中で安全に行動する意識を高める。

ことなどをねらいとして、自然観察する楽しみを感じて欲しいと願っています。

2. 活動場所

- ・キゴ山周囲の森林と草地内の散策路（あとのページの地図参照）

3. 活動人数・規模

- ・班を編制して実施する。
- ・チェックポイントに引率指導者の配置が必要です（打ち合わせや活動当日に確認します）。

4. 準備品等

- ・館が用意するもの
地図、筆記用具、バインダー、解答用紙、チェックポイント（ポスト）、熊よけ鈴、蜂スプレー、救急セット

5. 活動の手順

（1）事前学習（銀河の里に来る前の学習）

- ・特になし
- ・可能であればキゴ山や自然観察についての動機付けが望ましい。

（2）引率指導者との打ち合わせ

- ・引率指導者の配置場所の確認
- ・引率指導者の役割
安全対策に関する役割（班の通過確認・人数確認・班の状況確認）

（3）児童生徒向けオリエンテーション

- ・時間いっぱい使ってゆっくり、じっくり自然観察することが大切であることを知るねらいや活動の仕方、コース、注意事項について理解する。

（4）活動の振り返り（活動終了後）

①グループごとの振り返り

- ・班ごとに振り返り、互いに見つけたことなどについて分かち合う

②全体での振り返り（グループの代表が発表する等。）

6. 活動の留意点

（1）活動全般

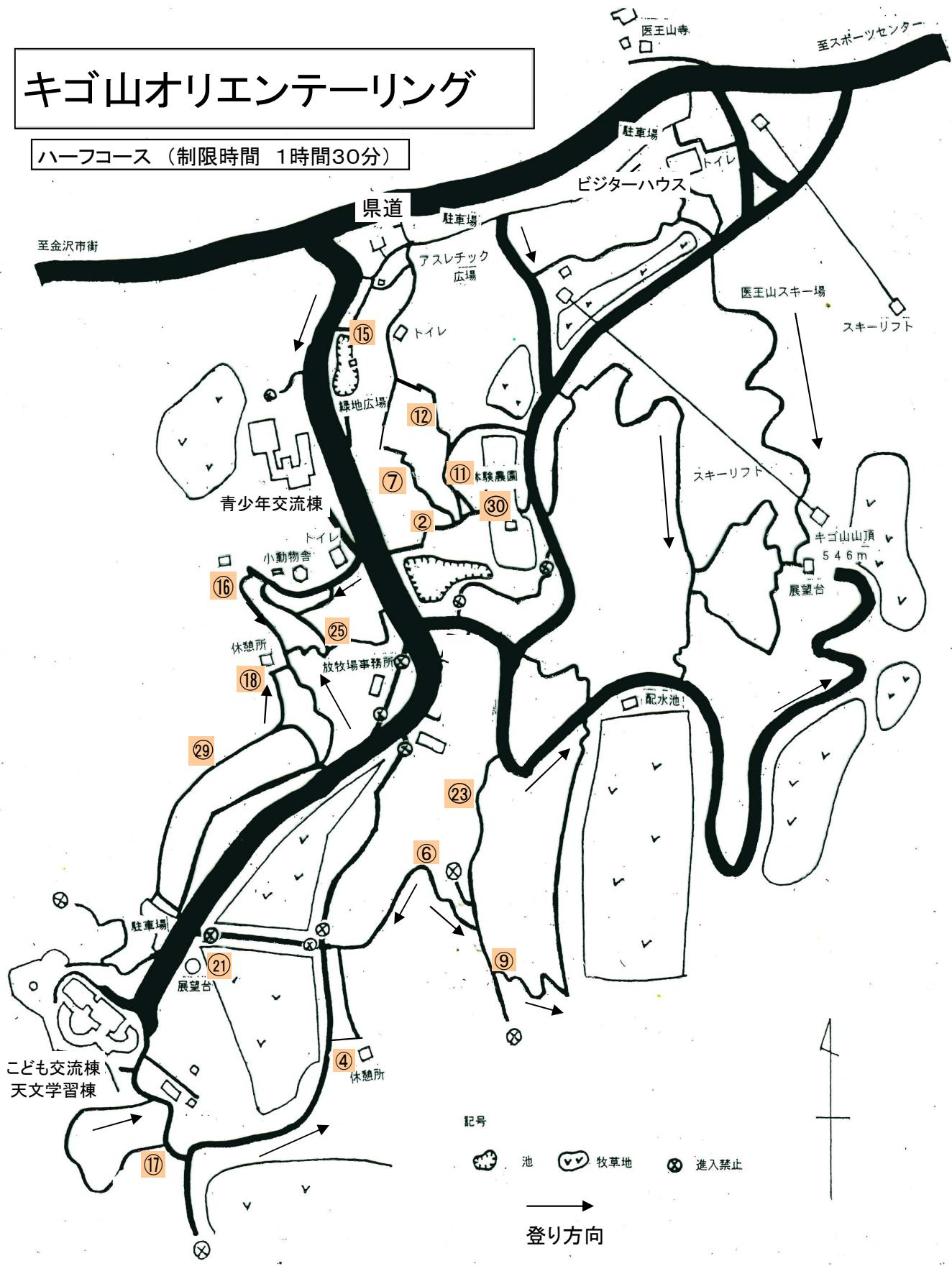
- ・引率指導者のポイントでの役割について理解しておくことが大切です。
- ・事前に活動場所の情報を所員から聞いておくことが大切です。可能であれば予察して危険な箇所や動物等の確認などしておきましょう。
- ・野外での活動や服装はできるだけ長袖、長ズボン、長靴を用意します。
- ・標高400mにある銀河の里は、年間を通して気温が低めですし、天気の変化も急でするので、夏季においても防寒着（上着や手袋等）や雨具（カッパ）の準備は欠かせません。

（2）自然観察

- ・活動の振り返り（フォローアップ）を活動時間に組み込むなど大切にする。
- ・自然体験活動では発見したことなどの「分かち合い（共有）」を大切にする。

キゴ山オリエンテーリング

ハーフコース（制限時間 1時間30分）



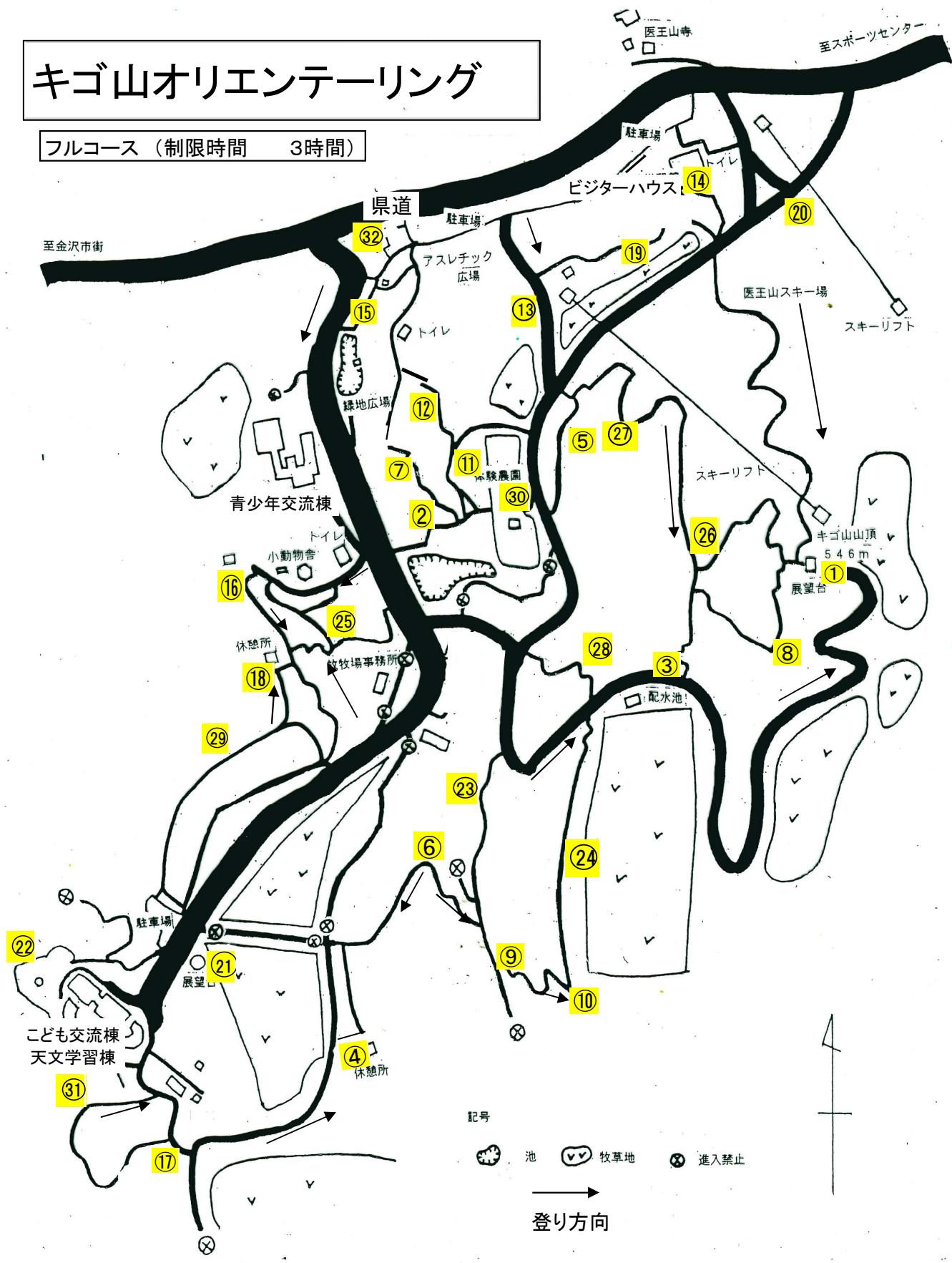
銀河の里キゴ山 229-1141

0 100 200 300 m

距離はおよその目安です。

キゴ山オリエンテーリング

フルコース (制限時間 3時間)



銀河の里キゴ山 229-1141

0 100 200 300 m

距離はおおよその目安です。